

2018年度 ジェロントロジー研究助成 対象者一覧

※共同研究の場合代表研究者

形態	対象者※	所属	研究テーマ
単独	青木 由香	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 大学院生	中年期未婚子の介護と就業の両立—就業形態・介護態 勢の異同をふまえた介護者支援策の検討—
単独	畦地 良平	日本大学大学院 文学研究科心理学専攻 大学院生	介護職員のワークエンゲイジメントおよびバーンア ウトの関連要因およびそのアウトカムについての 研究
共同	五十嵐 歩	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 講師	地域高齢者支援におけるコンビニエンスストアとの 協働を推進する研修プログラム活用の効果
共同	池田 恭敏	茨城県立医療大学 准教授	ドライブレコーダーを活用した参加型高齢ドライバ ー安全運転教育の効果
共同	石川 信仁	京都大学大学院医学研究科 大学院生	地域高齢者における予防的介入が要介護度の発生に 及ぼす影響に関するコホート研究
共同	板倉 有紀	秋田大学 高齢者医療先端研究 センター	地域での認知症のケアサイクルにおける住民参加と 行政保健師の専門性に関する社会学的研究 ——秋田 県内での社会実装のために——
共同	岡本 希	兵庫教育大学大学院 准教授	介護者の健康問題のリスク評価とナラティブ・アプロ ーチに基づく介護負担感、自尊感情、睡眠 の改善を 目的とした介入研究
共同	佐久間 美里	名古屋大学大学院 医学系研究科看護学専攻 大学院生	通所介護施設における認知症高齢者の行動・心理症状 に関する実態調査
単独	佐藤 惟	東京福祉大学 助教	地域の居場所におけるアドバンス・ケア・プランニ ングの可能性 ——高齢者と専門職による学びの場の 創出に向けたアクションリサーチ——
単独	佐野 知世	順天堂大学 保健看護学部	認知症高齢者の BPSD の緩和過程の分析と迅速な緩和 方法
共同	田淵 恵	中京大学心理学部 助教	乳幼児期の子どもとの触れ合いが高齢者にもたらす 心理的影響 —「ケアされる立場」から「ケアをした い気持ち」の創発へ—
単独	田村 直子	高崎健康福祉大学大学院 健康福祉学研究科 大学院生	グリーンケア充実に向けての在宅看取りを支える 専門職協働実践 (Inter-professional Work) 構築
共同	藤田 小矢香	島根県立大学 看護栄養学部看護学科 准教授	離島在住高齢者の認知機能と隠れ心不全の関連 —軽度認知障害に隠れ心不全は原因となりうるか?—
単独	村山 陽	東京都健康長寿 医療センター研究所 研究員 (主任)	地域の世代間援助における互恵性に関する研究 : 都市部における世代間援助は、どのように持続し うるのか
共同	山上 優紀	奈良県立医科大学 疫学予防医学講座 助教	サルコペニア・フレイル予防のための身体活動リズム の検証
共同	若林 和枝	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科 講師	在宅認知症高齢者の福祉用具利用状況とリスクマネ ジメントのあり方 —介護支援専門員と福祉用具専門 相談員へのアンケート結果より—
共同	和氣 大成	埼玉医科大学総合 医療センター 助教	健常高齢者および軽度認知障害患者に対する発症前 診断告知の影響 —認知症の効果的な告知マニュアル 作成に向けて—